

■高さ方向の調整（調整可能範囲：+1.5・+3mm）・ドアの下部が下枠に当たり開閉しづらい場合

下部（扉を閉じ、ラッチがかかった状態で調整）



- ① 扉下部本体の六角ナットが確実に締まっていることを確認してください。
高さ調整ねじをスパナで、スペーサ挿入可能な位置までゆるめてください。



- ② 高さ調整スペーサを挿入してください。
・1枚→1.5mm
・2枚→3.0mm



- ③ 調整後、高さ調整ねじを確実に締めてください。
数回扉を開閉してからもう一度増し締めしてください。



調整説明書

断熱玄関ドア デュガード【MD型】

'14-6月発行

1ページ YKK AP®

このたびは、YKK AP商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
本調整説明書は、調整担当者がお読みください。

調整の後に…

取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックを施主様にお渡しください。

お願い

商品の調整については、必ず本説明書に従ってください。
調整不良は操作不良や異常音の原因になります。

電動
ドライバー
使用禁止



全ての調整に、電動ドライバーは
使用しないでください。

チェックシート

取付時、本文中に表示している
「**チェックマーク** 」の確認をしてください。

	項 目	チェック欄
①	固定ナットを増し締めしましたか？	

注 意

- 調整ねじは、調整幅以上回さないでください。故障の原因となります。
- 固定ナット・ねじの締め付けが不十分ですとドア本体脱落の原因となります。確実に締め付けられていることをご確認ください。
六角ナット締め付けトルク：6.0N・m (60kgf・cm) 以上

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

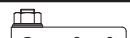
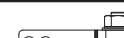
同梱部品一覧

表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。また、表中の○印の数字は本文中の組立・取付図の番号と連動しています。

■調整用

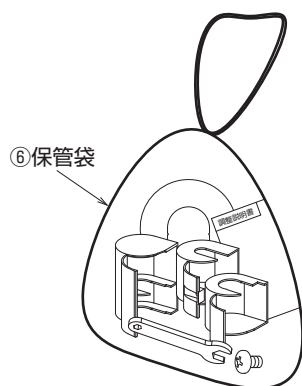
番 号		①	②	③		④				⑤	⑥	⑦
姿 図										 (カバー取付用)		—
品 名		高さ調整 スぺーサ	スパナ	ピボットヒンジキャップ (枠用)		ピボットヒンジキャップ (扉用)				小プラスチックねじ (φ4×6)	保管袋	調整説明書
品番	VS、G1	3K-16579	3K-16580	2K-34504	2K-34505	2K-34500	2K-34502	2K-34501	2K-34503	EM-4006	—	—
	上記以外			2K-31566	2K-31569	2K-31567	2K-31570	2K-31568	2K-31571			
個数	片開き	2	1	1	1	R:1・L:0	R:0・L:1	R:1・L:0	R:0・L:1	1	1	1
	親子	4	1	2	2	1	1	1	1	2	2	1
備考	VS、G1	ピボットヒンジセット: 4K-16995(R) ・ 4K-16996(L)										
	上記以外	ピボットヒンジセット: 4K-16993(R) ・ 4K-16994(L)										

■組立・施工用

姿 図													
品 名		固定金具	薄バインド小ねじ (φ4×6) (固定金具取付用)	ピボットヒンジ (枠上側用) 外観右	ピボットヒンジ (枠上側用) 外観左	ピボットヒンジ (枠下側用) 外観右	ピボットヒンジ (枠下側用) 外観左	(ビス)枠側取付用)	ピボットヒンジ (扉上側用) 外観右	ピボットヒンジ (扉上側用) 外観左	ピボットヒンジ (扉下側用) 外観右	ピボットヒンジ (扉下側用) 外観左	(ビス)扉側取付用)
品番	VS、G1 上記以外	3K-16578	MS-4008	3K-16570	3K-16574	3K-16573	3K-16577	EM-5016	3K-16571	3K-16575	3K-16572	3K-16576	MF-5020
個数	片開き 親子	1 2	2 4	R:1・L:0 1	R:0・L:1 1	R:1・L:0 1	R:0・L:1 1	8 16	R:1・L:0 1	R:0・L:1 1	R:1・L:0 1	R:0・L:1 1	8 16
備考	VS、G1 上記以外	ピボットヒンジセット: 4K-16995 (R) ・ 4K-16996 (L) ピボットヒンジセット: 4K-16993 (R) ・ 4K-16994 (L)											

保管方法

保管袋に入れ、ハンドルやサムターンに
ぶらさげる等をして保管してください。
部品の紛失・きず防止に配慮してください。



お願い

必要時まで紛失ないように
保管してください。

1. 建付調整

電動
ドライバー
使用禁止



■高さ方向の調整 (調整可能範囲：+1.5・+3mm) ●ドアの下部が下枠に当たり開閉しづらい場合

下部 〈扉を閉じ、ラッチがかかった状態で調整〉

高さ調整ねじ
②スパナ
六角ナット

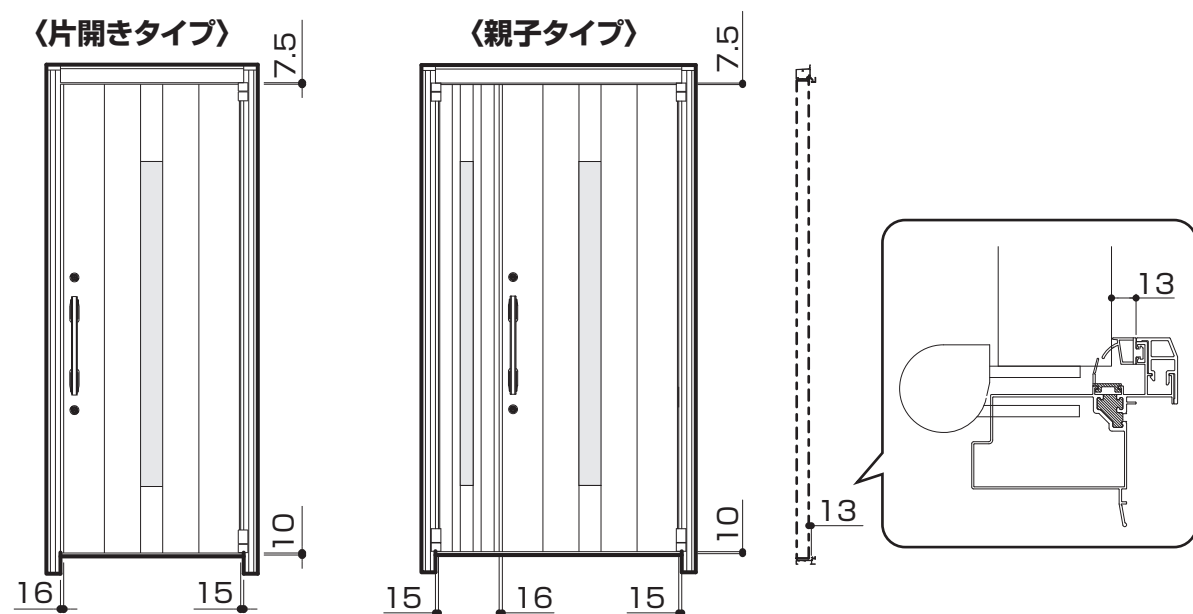
①扉下用本体の六角ナットが
確実に締まっていることを
確認してください。
高さ調整ねじをスパナで、
スぺーサ挿入可能な位置
までゆるめてください。

②高さ調整スぺーサを
挿入してください。
・1枚…1.5mm
・2枚…3.0mm

③調整後、高さ調整ねじを
確実に締めてください。
数回扉を開閉してから
もう一度増し締めして
ください。

チェック①

チリ寸法の確認



■左右方向の調整 (調整可能範囲：左右±3mm) ●吊元側のすき間が大きすぎる場合 ●ドアの戸先が干渉する場合

下部 〈扉を10°～15°開いた状態で調整〉

六角ナット
調整ねじ
吊元方向
戸先方向
②スパナ
④ドライバー

①六角ナットを
ゆるめてください。

②調整ねじを回して
扉を調整してくだ
さい。

③手で六角ナットが
回らなくなるまで
締付けてください。

④スパナで90°
以上増し締め
してください。

チェック①

上部 〈扉を10°～15°開いた状態で調整〉

六角ナット
調整ねじ
吊元方向
戸先方向
②スパナ
④ドライバー

①六角ナットを
ゆるめてください。

②調整ねじを回して
扉を調整してくだ
さい。

③手で六角ナットが
回らなくなるまで
締付けてください。

④スパナで90°
以上増し締め
してください。

チェック①

■室内外方向の調整 (調整可能範囲：室内外側±3mm) ●左右たて枠がねじれている場合

下部 〈扉を10°～15°開いた状態で調整〉

六角ナット
調整ねじ
室内方向
室外方向
②スパナ
④ドライバー

①六角ナットを
ゆるめてください。

②調整ねじを回して
扉を調整してくだ
さい。

③手で六角ナットが
回らなくなるまで
締付けてください。

④スパナで90°
以上増し締め
してください。

チェック①

上部 〈扉を閉じ、ラッチがかかった状態で調整〉

固定金具
調整ねじ
室内方向
室外方向
④ドライバー
薄バインド小ねじ
(φ4×8)

①固定金具のねじ(2本)を
ゆるめ仮止め状態に
してください。固定金具は、
はずさないでください。

②調整ねじを回して扉を
調整してください。

③固定金具のねじ(2本)を
確実に締めてください。

注 意

固定金具は確実に固定してください。扉のガタツキの原因となります。

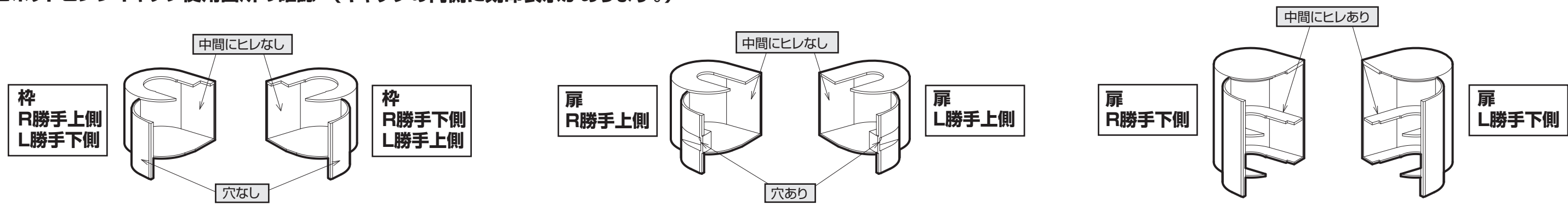
ポイント

- 室内方向の調整は、扉を室内側に押した状態で調整ねじを回し、その状態で固定金具を固定してください。
- 調整ねじの先端が軸に接するように調整し、その状態で固定金具を固定してください。

2.ピボットヒンジキャップの取付

電動
ドライバー
使用禁止

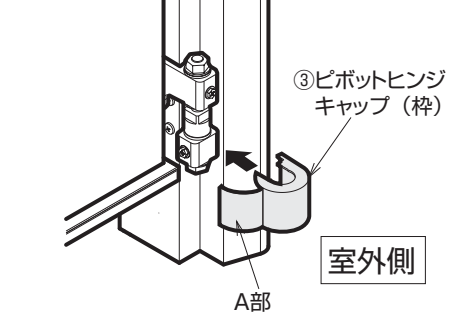
■ピボットヒンジキャップ使用箇所の確認（キャップの内側に刻印表示があります。）



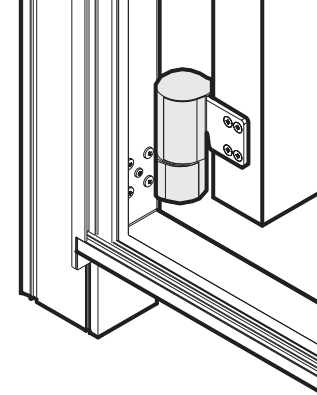
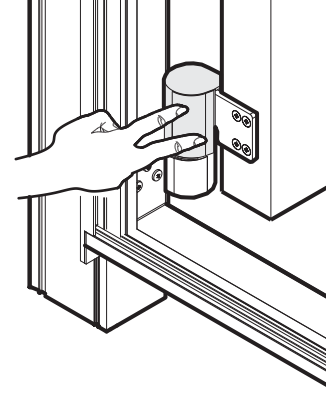
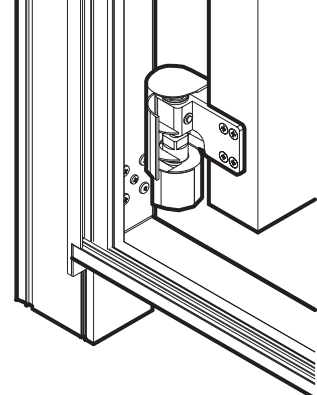
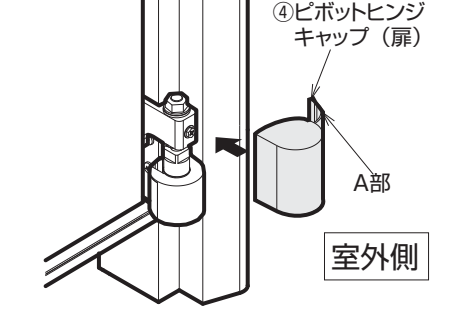
下部側

- 扉を閉じた状態で、枠部のキャップA部を開いて室外側正面から挿入してください。
- ①と同様に扉部のキャップを挿入してください。
- キャップを取付けた状態（室内側視）
- 扉を開いた状態で、室内側からキャップA部を閉じてください。
- 取付完了

＜枠部＞



＜扉部＞



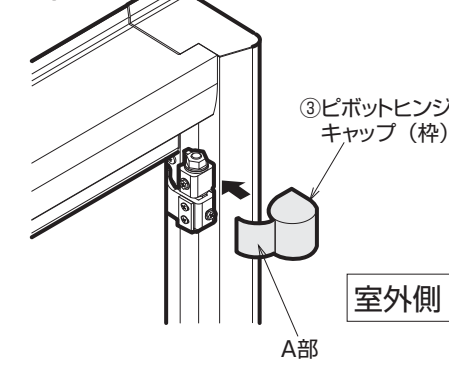
注 意

指を扉で挟まないように気をつけて、取付けてください。

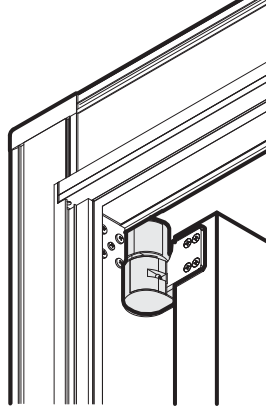
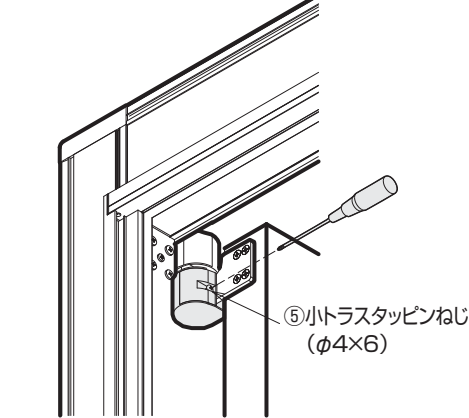
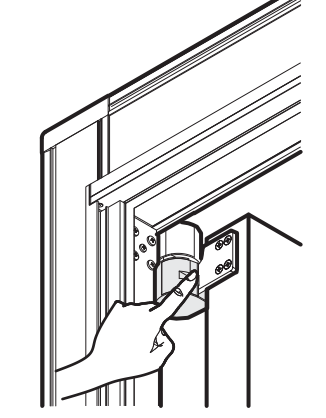
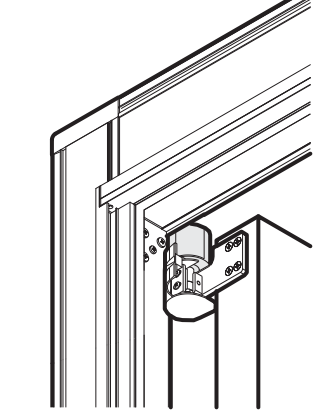
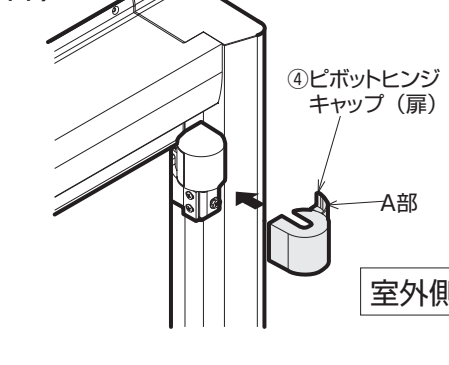
上部側

- 扉を閉じた状態で、枠部のキャップA部を開いて室外側正面から挿入してください。
- ①と同様に扉部のキャップを挿入してください。
- キャップを取付けた状態（室内側視）
- 扉を開いた状態で、室内側からキャップA部を閉じてください。
- 扉上部用キャップは扉を開いた状態で室内側からねじで固定してください。
- 取付完了

＜枠部＞



＜扉部＞



3.錠受の調整

電動
ドライバー
使用禁止

- 取付ねじをゆるめてください。
- 錠受をスライドして調整してください。
調整可能範囲：室外側 3mm
室内側 1mm
- 調整後、必ず取付ねじを締めつけてください。

お願い

取付ねじは、強く締めすぎないようにご注意ください。

